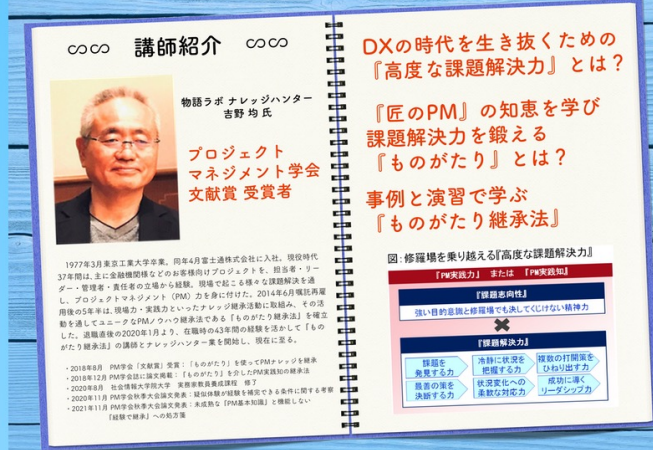


DXの時代を生き抜くための 失敗しないプロマネ力

～失敗せずに『ものがたり』から学ぶ『高度な課題解決力』～

日時 : 2023年 3月 23日 (木) 9:30 ~ 17:00
 場所 : JAIST金沢駅前オフィス、またはオンライン (ZOOM)
 講師 : 物語リラボ ナレッジハンター 吉野 均 氏
 受講料 : 18,000円 (税込)

主催 一般社団法人JAIST支援機構 後援 一般社団法人石川県情報システム工業会 国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学



【対象者】 プロフェッショナルを目指す若手エンジニア、プロジェクトリーダー、プロジェクトマネジャー

【最低催行人員】 6名 ※申込者が最低催行人員に満たない場合は中止となります。その場合入金された受講料は返金します。

【講義概要】

若手エンジニアからプロマネ経験者を対象に、全てのプロフェッショナル (プロ) に求められる**DXの時代を生き抜くための『高度な課題解決力』**とは何かを理解し、『ものがたり』から『匠のPM』の知恵を学ぶとともに、明日から**課題解決力を鍛えるための『ものがたり』作り**を開始することを目的とした講座です。

この目的を達成するために、一方的に講義するだけでなく、様々な事例を紹介しながら講師からの問い掛け・ミニ演習・個人演習を交え、受講者の皆さんに楽しく考えながら学んで頂きます。

【お申し込み】

以下のホームページからお申し込み下さい。

https://www.jaistso.or.jp/information/monogatari_lab_course/

こちらから→



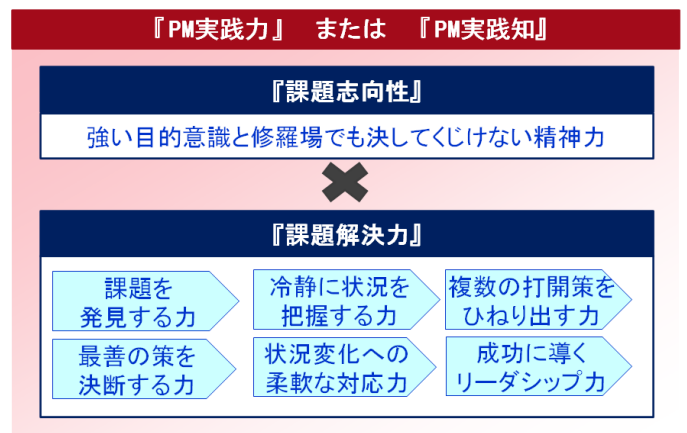
【講義詳細】

昨今、「デジタル敗戦からの復興」が叫ばれ、企業は生き残りを賭けたデジタル変革 (DX) に取り組むことが求められています。しかし、企業におけるDXは今一歩進んでいない状況にあります。DXが進まない本質は、DXにおける一番困難な新事業プロジェクトに3つの修羅場『魔の川・死の谷・ダーウィンの海』があるからです。

この3つの修羅場は、絶対失敗しないプロマネである『匠のPM』の『類い希な課題解決力』でプロフェッショナル (プロ) の『高度な課題解決力』を結集できて始めて乗り越えることができます。つまり、現代の全てのプロは、自身が生き残る為にも、類い希とは行かないまでも『高度な課題解決力』を身に着ける必要があります。プロは元々、課題解決力を保有していますが、課題解決力を経験により高度化するには、大失敗するリスクが伴います。そこで課題解決力を疑似体験により鍛える方法として『ものがたり継承法』をご提案します。

『ものがたり継承法』は、富士通の実践で効果が検証されている方法です。『ものがたり継承法』の富士通における成果である『ものがたり』と『DX実践記』の一例を紹介するとともに、明日から現場で実践可能な『PM四択問題』と『秘密のエピソード』という二つの手法を紹介します。これらの紹介を通して『匠のPM』の知恵を学んで頂くと共に、この二つの手法を実践できるまでの知恵を身に着けて頂きます。現代は、技術の進歩が急速に進んでおり、絶えず学び直し (リスキリング) が必要と言われています。その学び直しの一番手軽で役に立つ方法が、現場の実践で発見した知恵を互いに学び合うことです。『PM四択問題』と『秘密のエピソード』は誰でも簡単に作成可能で、現場の知恵を学び合うことに役に立ちます。ぜひ現場に持ち帰って、課題解決のちょっとした知恵を互いに学び合う活動から始めて、組織の活動に発展させてください。

図: 修羅場を乗り越える『高度な課題解決力』



【テキスト目次】 ※変更する場合がございますので予めご承知下さい

No	講義内容	備考
1	DXの時代を生き抜くための『高度な課題解決力』とは	
1	デジタル変革に必要な不可欠なスキルと人材	
2	『匠のPM』と『課題解決型プロマネ』とは	演習①
3	デジタル変革PJにおける3つの修羅場	三二演習
4	修羅場を乗り越える『高度な課題解決力』	三二演習
5	プロフェッショナルに必要な『高度な課題解決力』課題解決力』	
2	失敗しないで『課題解決力』を鍛える『ものがたり継承法』	
1	経験から学ぶことの大きなリスク	
2	『ものがたり継承法』による『疑似体験』の仕組み	
3	『ものがたり継承法』の富士通での成果・概説	
4	計画志向性と意志決定力を学ぶ『ものがたり』	三二演習
5	変革志向性と課題解決力を学ぶ『DX実践記』	演習②
3	簡単にできる『ものがたり継承法』の実践方法	
1	小さく生んで大きく育てる3フェーズ導入法の概説	
2	『匠のPM』の知恵を疑似体験できる『ものがたり』の書き方	演習③
3	現場の課題解決の知恵を学び合う『PM四択問題』	三二演習
4	修羅場経験を他者に伝える『秘密のエピソード』	演習④、三二演習
4	おわりに	
1	振り返りとまとめ	
2	皆さまへのエール	

【講師略歴】吉野均氏

1977年3月東京工業大学卒業。同年4月富士通株式会社に入社。現役時代37年間は、主に金融機関様などのお客様向けプロジェクトを、担当者・リーダー・管理者・責任者の立場から経験。現場で起こる様々な課題解決を通し、プロジェクトマネジメント（PM）力を身に付けた。2014年6月嘱託再雇用後の5年半は、現場力・実践力といったナレッジ継承活動に取組み、その活動を通してユニークなPMノウハウ継承法である『ものがたり継承法』を確立した。退職直後の2020年1月より、在職時の43年間の経験を活かして『ものがたり継承法』の講師とナレッジハンター業を開始し、現在に至る。

- ・2018年8月 PM学会「文献賞」受賞：「ものがたり」を使ってPMナレッジを継承
- ・2018年12月 PM学会誌に論文掲載：『ものがたり』を介したPM実践知の継承法
- ・2020年8月 社会情報大学院大学 実務家教員養成課程 修了
- ・2020年11月 PM学会秋季大会論文発表：疑似体験が経験を補完できる条件に関する考察
- ・2021年11月 PM学会秋季大会論文発表：未成熟な『PM基本知識』と機能しない『経験で継承』への処方箋

∞∞ 私が推薦します ∞∞

プロジェクトマネジメントの知識体系はPMBOKなどで整理されていますが、現実には極めて経験的な知識であり、書籍やマニュアルを読んだだけで修得できるものではありません。一方、多くの経験を積むには長い時間がかかります。特に、DXプロジェクトに関しては、経験が少ないという方も多いと思います。

その経験を仮想的に体験できるのが「物語」です。「物語」は、プロジェクトマネジメントの知識継承手法として有効ですが、講師の吉野均氏はIT企業での「物語」活用を長年実践してこられた第一人者です。今回は金沢駅前で開催とのことで、たいへん貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。



北陸先端科学技術大学院大学
知識科学系長
トランスフォーメティブ 知識経営研究領域長
教授 内平 直志 氏